



米国防総省、地図情報を Oracle から移行して、大きなメリットを発見

さまざまな米国政府機関が、EnterpriseDB 社の EDB Postgres™を採用しています。その中に、国防のための情報を確保するために、大量の地図情報を扱っている政府機関がありました。その政府機関は「Postgres は、PostgresGIS があり大変魅力的でした。これは Postgres の拡張で、業界で最も強力な地理情報ツールです」と評価しています。

■ 課題

同機関は、複雑なクエリを処理し、データを瞬時に返すためのクリティカルアプリケーションをサポートするために、Spatial Option を備えた Oracle データベースを使用していました。しかし、制約がありました。データベースチームは、すべての機能を実装することができなかったのです。

バルクロード方式は毎日行われていたため、更新はリアルタイムでは利用できませんでした。しかも高価なハードウェア上で動作していたのです。

■ 解決策

EDB の Oracle とのデータベース互換性を利用して、この機関はアプリケーションを EDB Postgres に移行し、PostGIS 拡張を追加しました。また、新しいデータベースを安価な仮想マシン環境で実行し、コストをさらに削減することも決定しました。

■ 結果

- パフォーマンスが大幅に向上
- 長期メンテナンス費用が削減
- 多数のクエリに対応できる、地理空間の組み込み関数が利用可能
- システムを簡単に複製でき、移植性が向上
- エンドユーザーの満足度と使用率が向上

基本的に、新システムは、アプリケーションに依存しないでデータ処理ができたため、大量のデータを処理することができました。データベースがその機能を最大限発揮することで、アプリケーションのサイズと複雑さが削減され、結果としてパフォーマンスが倍増しました。

パフォーマンスの向上に寄与するもう 1 つの要因は、すべてのデータが、PostGIS の拡張データ型に格納されていたことです。これは、データベースで利用される情報を処理する目的で構築されています。

さらに、定期的なバッチロードプロセスに依存していた古いシステムとは対照的に、EDB Postgres を使用した新システムは、Web インターフェイスを使用して、ほぼリアルタイムでアップデートをサポートできるようになりました。

[出典：EDB 公式ホームページ「カスタマー事例」より]

▼ 出典 URL

<https://www.enterprisedb.com/customers/us-defense-agency-finds-benefits-oracle-migration>